

## I - C - 14

## 人参養栄湯による高脂血症の治療効果

横浜労災病院 内科

西川哲男、飯塚 孝、大村昌夫、三木隆司、千葉省三

目的：ginsengは、血圧・糖脂質代謝異常に有効と考えられている。そこで、今回我々は、高コレステロール血症者にginsengを含有する人参養栄湯を投与し、その治療効果を検討した。更には、抗酸化・抗脂質作用を示すプロボコールと人参養栄湯との併用療法を行い血中脂質値の変動を検討した。以上の検討により、人参養栄湯の高脂血症に及ぼす有効性を明かにしたので報告する。対象・方法：観察期中の総コレステロール値に従い2群に分類した。すなわち、その値が220-250mg/dlにある対象者15（男8、女7例）例には、人参養栄湯7.5g/日、12週間投与を行った（単独群）。その値が250mg/dl以上の高コレステロール血症20（男4、女16例）例には、最初の4週間プロボコール500mg/日で治療し、それ以降更に8週間人参養栄湯7.5g/日を併用した（併用群）。この間、各血中脂質・アポ蛋白並びに一部の症例でLp(a)値を定量し、これら薬剤の治療効果を明かにした。結果：①単独群での、総コレステロール値は12週間にわたり前値と同様の値を示し変動がなかった。中性脂肪値は12週後に明かに低下していた。HDLは有意差は無いが、やや増加傾向を示した。LDL/HDLで計算した動脈硬化指数も低下傾向を示した。アポCⅡ、CⅢも低下傾向がみられた。②併用群では、総コレステロールは274.4より241.3mg/dlに有意に低下し、その時点で人参養栄湯を併用8週目では235.2mg/dlとわずかな低下をみた。中性脂肪は、12週目で有意に低下していた。HDLは56.8mg/dlよりプロボコール4週で45.2mg/dlと低下するも、その併用でそれ以上の低下はなかった。動脈硬化指数は、4週目で4.7と上昇するも併用すると4.5に低下した。アポCⅡ、CⅢは単独の場合と同様に低下した。Lp(a)値は人参養栄湯を併用した8週目に低下傾向を示した。考察：人参養栄湯単独治療効果より、血中中性脂肪値の減少をもたらすことが明かでアポCⅡ、Ⅲの低下も伴っていた。併用療法でも同様に、高中性脂肪血症の治療に本剤が有効と考えられた。動脈効果指数も軽度改善傾向がみられ、更に併用療法ではLp(a)を人参養栄湯が低下する可能性が示唆され、本剤は抗動脈硬化剤として臨床応用が可能と考えられた。結語：人参養栄湯は中性脂肪値を低下させ、同時に抗動脈硬化作用を示すことが判明した。